

## 平成22年度 全国保健師長研修会実施要綱

- 1 目 的 地域保健活動における保健師の果たす役割の重要性に鑑み、効果的な保健師活動を展開していくための指導者としての資質の向上を図ることを目的とする。
- 2 平成22年度テーマ 地域の健康課題に責任がもてる保健師を育てるために  
～継承すべき保健師の地区活動～
- 3 主 催 全国保健師長会・京都府・(財)日本公衆衛生協会・
- 4 後 援 厚生労働省
- 5 日 程 平成22年8月25日(水)～8月27日(金)
- 6 開催場所 京都国際ホテル  
住所：京都市中京区堀川通二条城前  
TEL：075-222-1111
- 7 受講人員 200名程度
- 8 受講資格 (1) 都道府県、保健所設置市及び特別区の保健所に勤務する保健師のうち指導する職にある者  
(2) 市町村における保健師のうち指導する職にある者  
(3) 全国保健師長会会員
- 9 研修内容 別紙「全国保健師長研修会プログラム」参照
- 10 参加費 無料
- 11 申込み方法 別添申込書に必要事項を記入のうえ、下記申込先にFAX等により送付すること。  
<申込先>  
京都府健康福祉部健康対策課健康づくり担当  
〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町  
TEL:075-414-4724 FAX:075-431-3970
- 12 申込期限 平成22年7月2日(金)
- 13 その他 宿泊については、全国保健師長会京都府支部から別途通知予定。

平成22年度全国保健師長研修会プログラム

テーマ「地域の健康課題に責任がもてる保健師を育てるために～継承すべき保健師の地域活動～」

日 時:平成22年8月25日(水)～8月27日(金)

場 所:京都国際ホテル(京都市中京区堀川通二条城前)

<p>8月25日 (水)</p>		<p>12:00 受 付</p>	<p>13:00 開 会 式</p>	<p>13:15 オリエンテーション</p>	<p>13:30～14:30 講演Ⅰ 「誰もが安心して生きられる、温かい社会づくりを目指して～厚生労働省における自殺・うつ病等への対策について～」 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 精神・障害保健課 心の健康づくり対策官 荒川 亮介</p>	<p>14:35～15:35 講演Ⅱ 「保助看法等の改正を踏まえて、保健師リーダーに求められること」 全国保健師長会 会長 大場 エミ</p>	<p>15:40～17:10 講演Ⅲ 「ぶれない・怯まない・揺るがない保健師活動を目指して」 厚生労働省健康局総務課 保健指導室長 勝又 浜子</p>	<p>18:00～ 情報 交換会</p>
<p>8月26日 (木)</p>	<p>9:00～10:15 シンポジウム 基調講演Ⅳ 「人々が暮らす地区というフィールドをしっかりと踏みしめて」 国立保健医療科学院公衆衛生看護部主任研究官 中板 育美</p>	<p>10:20～12:30 (昼食12:30～13:30) 事例報告 ①八峰町 直嶋 京子 ②津市役所子ども総合支援室 堀内 咲子 ③京都市中京保健センター 粟津 佳子 ④京都府山城北保健所 丹治 和美 コーディネーター 国立保健医療科学院公衆衛生看護部主任研究官 中板 育美</p>		<p>13:30～17:00 グループワーク 各自治体の地区活動の事例を持ち寄りグループワーク ①情報交換「各自治体の地区活動事例を持参・紹介」 メンバーから「各事例へコメント」 ②「人材育成・業務管理の観点で条件・技術・マインドを整理」 ③各自が宣言「地区活動を推進できる職場の人材育成においてリーダーとして行動すべきこと・できること」 コーディネーター・総括 国立保健医療科学院公衆衛生看護部主任研究官 中板 育美 助言者 京都府山城北保健所 所長 和田 行雄</p>				
<p>8月27日 (金)</p>	<p>9:00～11:00 講演Ⅴ 「専門職(保健師)の管理者に求められる役割」 工藤 啓(富谷中央病院副院長)</p>	<p>閉 会 式</p>						